

専門実践教育訓練明示書

講座の名称	科学技術コミュニケーター養成プログラム 選科			
実施方法	① 通学（昼間・夜間・土日） ② 通信 スクーリング(回数 1回)			
指定講座番号(15桁)	0112017	—	2510011	— 2
講座の創設年月日 平成18年7月1日	専門実践教育訓練給付金 対象講座の指定期間 令和10年3月31日まで	過去一 年の講 座実績	入講者数(60人)	修了者数 (57人)
訓練期間	9ヶ月		総訓練時間	150時間
1. 教育訓練目標				
①取得目標とする資格の名称、目標レベル	<input type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 () <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 () <input type="checkbox"/> キャリア形成促進プログラム () <input type="checkbox"/> 専門職大学院 () <input checked="" type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム (科学技術コミュニケーター) <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格 () <input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座 () <input type="checkbox"/> 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科 () 教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等			
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	北海道大学			
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	講義・演習をすべて受講し、かつ所定の課題を提出し、集中演習に参加した場合に修了を認める。			
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況	科学技術コミュニケーターは、科学のおもしろさや科学技術をめぐる課題を人々へ伝え、ともに考え、意識を高めることを目指した活動を担う人材であり、科学技術イノベーション基本計画においてもその活動は明記されている。本講座の修了生は、学校現場等における科学技術コミュニケーション活動、研究所や企業における科学技術のアウトリーチ活動に効果的に従事することが可能になる。			
2. 教育訓練の内容				
教科 (カリキュラム)	時間	使用教材名		
科学技術コミュニケーションの入り口	12			
科学技術コミュニケーションの基礎	27			
科学技術コミュニケーションの実践の知恵	27			
アートで現代を考える	12			
CoSTEP集中演習	45			
CoSTEP選択演習	12			
CoSTEP選択実習 I (映像)	12			
CoSTEP選択演習 II (科学館・美術館)	12			
3. 受講者となるための要件 (この講座を受講するために必要とされている条件など)				
①受講するに当たって必要な実務経験等				
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	・学校教育法第103条に規定する大学院に入学することができる者 ・大学を卒業した方、またはそれと同等のリテラシーを有する者 ・本学の規程に定める者			
③その他				
〔特記事項〕				